

2 東日本大震災の記録や教訓を保存し伝えていくためのアンケート票

日本農業普及学会震災アーカイブ特別委員会

1. 回答者、ご本人について伺います。

- あなたの氏名（匿名も可）：()
- 所属普及センター等の所属都県名：()
- 震災時の主な担当分野：()
- 性別（どちらかに○）： () 男 () 女
- 震災時の年齢（該当に○）： () 20才台 () 30才台 () 40才台
() 50才台 () 60才台
- 震災時の普及員としてのキャリア： () 年

2-1. あなたが関わった地域の震災の内容（該当するもの全てに○）

- ()地震の揺れによる被害
- ()津波による被害
- ()原発事故による被害
- ()風評による被害
- ()その他 ()

2-2. あなたご自身が被災されましたか（震災時勤務中に怪我をした等仕事中的ものは除く）。

- ()大きな被害を受けた
- ()軽微な被害を受けた
- ()被害を受けなかった
- ()その他 ()

3-1. あなたが関わった担当地域の農業の形態（主要作目を記載して下さい。）

A :

3-2. あなたが関わった担当地域の農業・農村の被害状況を端的（簡潔）に表現して下さい。

A :

4. 主に震災直後のことについてお聞きします。

Q1：担当地域の災害の現場に直面して、その時に何を感じましたか。

A :

Q2：普及センターとして震災直後に最初に取り組んだことは救援活動等でしたか。その取組の状況について普及センターとして取り組んだことと、自ら取り組んだことが明確

に区別できるように、また取組の時期や期間がわかるようにお答え下さい。

A (普及センター) :

A (自ら) :

Q3 : 普及センターが災害に関する普及活動として最初に取り組んだことはなんですか。そのうち、あなたに取り組んだことは何ですか。

Δ (普及センター) :

Δ : (あなた個人) :

Q4 : 震災直後、普及活動を進めるうえで最も配慮したことは何でしたか。普及センターとして取り組んだことと、そのうちあなたが担当したことが明確に区別できるように、それぞれについてお答え下さい。

A (普及センター) :

A (あなた個人) :

Q5 : 震災直後、普及活動を進める上で障害となったことや困難はありましたか。例えば、普及センターの建物が崩壊（浸水）して事務所機能を失った、道路が崩壊して行動できなかった、通信伝達機能（電話、ファックス等）が不通になって農家との迅速な連絡が取れなかった、公用車の燃料が調達できなかった、放射能対応のマニュアルがなかった等々、その他の事を含め具体的に自由に記載して下さい。

Δ :

Q6 : 担当地域の農業・農村の復旧（復興）に向けて最も大切だと思ったことは何ですか。

A :

Q7 : 今、被災直後の状況を振り返ってみて、今後の災害時の教訓として普及指導員に伝えておきたいことがあれば、自由にお書き下さい。

A :

5. 震災から1年以上経過して以降(2012年4月以降)についてお伺いします。

Q8: あなたの2012年4月以降の活動は、被災地域で行われたものでしょうか。「はい」の場合、復興や放射能による食品安全問題に関連する活動であったかどうかもお答えください(あてはまるもの全てに○)。

- () 被災地域での活動(地域復興)
() 被災地域での活動(食品安全)
() 被災地域での活動(その他:具体的に)
() 被災地域での活動ではない

6. 震災の発生から現在までを振り返ってお答え下さい

Q9: 震災発生から現在までに、普及活動の結果、効果のあがったと思われる事例を簡単にお聞かせ下さい。その事例で効果が上がった要因は何であったと思いますか。

A (効果のあがった事例):

A (上記事例の効果があがった要因):

Q10: 震災発生から現在まで、普及活動の対象とした農家自身に「気がめいる、ふさぎこむ、眠れない、とても不安だ、といった症状」がありましたか、もしあったとしたらその時に普及センターはどのような対応をとりましたか。

A :

Q11: 震災発生から現在まで、あなた自身、または仲間の普及指導員に「気がめいる、ふさぎこむ、眠れない、とても不安だ、といった症状」がありましたか、もしあったとしたらその時に普及センターはどのような対応をとりましたか。

A (あなた自身):

A (仲間の普及指導員):

Q12: あなたは震災前後で普及活動に対する考え方に変化がありましたか(どちらかに○)。

- () はい () いいえ

「はい」とお答になった方に伺います。その変化の内容を記載下さい。

A :

「いいえ」とお答になった方は Q13 にお進み下さい。

Q13：被災後の普及活動を省みて、反省する点やもっとこうしたら良かったと感じるようなことはありますか。

A :

Q14：このアンケートに対するご意見、感想、その他考えるところがあれば、自由にご意見をお聞かせ下さい。

A :

依頼：当時の手記、日誌などがありましたら、400~800 字程度に抜粋（編集）してご提供をお願いします（このアンケートの回答を機会に当時を思い起こして手記をまとめてみませんか、貴重な資料になることは間違いありません）。

また、写真、所属する普及センター等でまとめられた活動計画、活動記録等がありましたら添付下さい（当時の活動記録等は、アンケート票の記載内容の理解の助けになるばかりでなく、大変貴重な資料です。所属長とご相談のうえ、抜粋のコピーでも差支え有りませんので、ご提供をお願いします。）。

手記、写真、所属する普及センター等でまとめられた活動計画、活動記録等は、アンケート票の提出期限（8月31日）までに提出が難しい場合には、後日（2013年12月末頃まで）、各都県職員協議会事務局を通じて全国農業改良普及職員協議会事務局にEメール又は郵送でお送り下さい。

ご協力有り難うございました。皆様の貴重な回答を活かして、震災アーカイブとしてとりまとめ、今後の震災対策、普及活動の充実などに活かして参りたいと思います。

問合せ先：日本農業普及学会事務局

全国農業改良普及職員協議会